

校長室だより



H26 (2014) 年 NO.8

岸和田市立浜小学校 渡瀬 克美

子どもたちの姿の中に落ち着きを感じ 感謝の気持ちでいっぱいです！

平成26 (2014) 年がスタートして、早や1カ月近くになるうとしています。

今年は“うま年”ですね。馬は『ものごとが“うま”くいく』『幸福が駆け込んでくる』とか、生まれたての子馬は生後1時間ほどでしっかりと立ち上がり、3時間もしないうちに駆けることができるようになることから、『立ち上がりが早い』等に例えられ、縁起が良いといわれているようです。実は、私もうま年生まれで、この1月に還暦を迎えました。年賀状には「いよいよ第4コーナーを迎えました。『無事これ名馬』の言葉にあやかりたいものです。」と書きました。

本年が、皆様にとりまして幸多い年になりますように祈念申し上げますと共に、子どもの笑顔輝く学校になるように教職員一丸となって取り組んで参ります。ご支援・ご協力の程どうぞよろしく願いいたします。

では浜の子どもたちとはいうと、荒れることなく毎日落ち着いた学校生活を送っています。本当に有り難いことです。このことは、子どもたちと先生とでがっちりスクラムを組んで生活している証でもあります。そしてその関係を支えていただいているのは、保護者・地域の方々であり、感謝の気持ちでいっぱいです。

例えば、昨日 (22日) 行われた、『浜っ子チャレンジ』 (全校児童を1年から6年までを16班に分けた、たてわり集団活動) では、各教室で「ぶんぶんゴマ」を作りました。材料はタコ糸と各自が家庭から持ってきた牛乳パックです。その様子を見ていると、牛乳パックを重ねセロハンテープでくっつけ、分厚くしたコマにコンパスで二か所に穴をあける時、高学年の人は「対角線を引いて中心を決めるのは難しいよな、ちょっと待ちよ」と低学年の人を助けるなど、全ての班で高学年の人の優しさや低学年の子どもの素直さがはっきり見て取れ、

目標である ①全学年が楽しめるように高学年がひっぱり

②ケガもむだなゴミもない浜っ子チャレンジ

が見事に達成できたと感じました。本当に子どもたちが育ってきています。うれしいことです。



1月26日「日曜参観の日の午前10時から」 地域あげて「地震・つなみの避難訓練を実施」 します！ご参加・ご協力をお願いします

26日 (日) は、今後起こりえる南海・東南海地震に備え、また、阪神・淡路大地震のあったこと

を忘れず、地震・津波で命をなくさないように逃げるんだ！と決意する訓練の日です。

今回は、浜市民協議会と連携して取り組みますが、地域の方々は地域で、岸和田高校に避難していただきます。参観に来ていただいている保護者の方は、子どもたちと一緒に岸和田高校に避難していただきます。避難訓練実施については岸和田市危機管理室の主導のもと、午前9時過ぎから街宣車によって地域にお知らせしていただきます。学校側は8時50分から9時35分までの学習参観の後、10時から避難訓練を実施いたします。

今回も、和歌山大学客員教授（学校防災アドバイザー）今西 武 様の指導のもと、大阪府下で14校のみの配置の『緊急地震受信システム』を利用して、避難訓練を実施します。

具体的な動きは、先日ご家庭に配布したとおりです。

本校が学校以外の場所に避難しはじめて今年で9年目です。大切なことは次のとおりです。再度確認させていただきます。保護者の方もお子さんとお話しておいてください。

地震発生後、約9.5分で1m、約10.5分で最大5mの津波がやってくると予想されます。海拔1.5mの浜小学校では対応できないため海拔7.5mの岸和田高校に避難します。

- ・被害や津波の大きさを勝手に考えない。予想がつかないから必ず岸和田高校に逃げること。
- ・津波到着まで9.5分。あわてず、みんなを誘って逃げる（徒歩約20分で着きます）
- ・お家の人との待ち合わせ場所は岸和田高校です。
- ・率先して逃げること。（大人の人が「大丈夫」なんて言っても、絶対に逃げること）

ひなんくんれん



「今年も、牛乳パック集めに ご協力お願いします」

保護者の皆様のご協力で、牛乳パックを集めてトイレトペーパーに交換していただく取り組み(牛乳パック20枚で1個)のご報告をいたします。過去三年間の比較をしてみます。(1月～12月までの集計)

2013 (H25)	8175 枚	409 個のトイレトペーパーと交換	約 17000 円分
2012 (H24)	9160 枚	458 個のトイレトペーパーと交換	約 19300 円分
2011 (H23)	10440 枚	522 個のトイレトペーパーと交換	約 22000 円分



毎年、少しずつ牛乳パックの量が減ってきていますが、全校での一年間の消費量が約700個ですから今年で5.8%、昨年で6.5%、一昨年で7.5%も保護者の方々のご協力でまかなくなっています。

感謝の気持ちでいっぱいです。いただいた牛乳パックは、先生たちの手で20枚ごとにまとめて回収業者にお渡ししています。

1枚いちまい洗って、ハサミで切りそろえるのは大変だとは思いますが、今年も昨年以上にご協力をいただくと幸いです。運んでくれる子どもたちに、私も感謝の気持ちを込めて「ありがとう」の言葉を伝えております。今年もご協力のほどよろしく申し上げます。